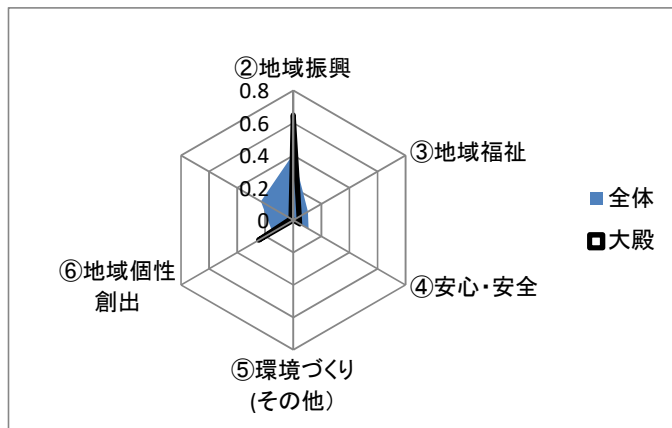


おおどのコミュニティ協議会 地域づくり交付金事業概要(令和4年度)

■地域の情報

地域人口	7,239人	自治会数	29
世帯数	3,305世帯	自治会加入率	87.7%

※数値は、令和5年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	7,948,000 円
交付金決算額	7,639,956 円
その他収入	1,569,754 円
交付金決算額/配分額	96.1%

各分野の決算

①協議会運営	4,905,144 円
②地域振興	2,789,730 円
③地域福祉	185,283 円
④安心・安全	196,851 円
⑤環境づくり(土木工事)	円
⑤環境づくり(その他)	1,063,117 円
⑥地域個性創出	69,585 円
決算総額	9,209,710 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

働くところがあり、心豊かに暮らし続けることができるまちづくり

■総括

第5期大殿地域づくり計画の2年目にあたり、コロナ禍での会議の持ち方を模索しながら、各部会の年間事業予定に沿って会議を開き、皆で協力し事業を進めることができた。新規事業として、学校シリーズ:ポランティアの学校を開催することができた。

基本目標の「働くところがあり」に込めたやりがいやいきがいにつながるよう、地域住民に幅広い参加を促すタイムリーな情報発信に努めた。また、「チーム大殿」の視点で広報紙「地域情報みんなのおおどの」を発行した。今後は紙面づくりにも地域の皆さんの声を拾う取り組みを進めていきたい。

引き続き、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関わられるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していきたい。

■分野別事業名

① 協議会運営	・事務局の運営体制
② 地域振興	・地域情報の発信と広報活動事業 ・地域行事の活動支援事業 ・地域の地縁の輪づくり事業 ・地域コミュニティ推進事業(つながり) ・助成金交付事業
③ 地域福祉	・三世代交流事業 ・健康づくり事業(健康体操教室活動支援事業、健康ウォーキング事業) ・おおどのたすけあいのまちづくり事業
④ 安心・安全	・大殿地区安心安全のつどい事業 ・自主防災活動推進事業 ・地域見守り活動事業 ・反射鏡設置事業
⑤ 環境づくり	・環境整備事業
⑥ 地域個性創出	・伝統文化の保存継承事業 ・地域活性化事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	①地域情報の発信と広報活動事業 ②地域コミュニティ推進事業(つながり)	決算額	①624,773円 ②181,406円
	目的	①地域情報の共有や発信を進める。 ②新たな人材の巻き込みや地域交流を通じて連携強化を図る。		
	実施内容	①ホームページの定期更新。広報紙一元化「地域情報みんなのおおど」発行。 ②研修事業の実施(庭木の学校5月・10月実施、里山の学校(山登り)11月、ボランティアの学校8月・12月、消防出初式の視察研修1月中止)		
	実施時期	①令和4年4月～令和5年3月 ②令和4年5月14日・10月15日、11月3日、8月21日・12月18日		
	参加人数	①182人 ②136人		
	成果	①事業の告知・報告のほか、地域の各団体からの情報を発信できた。紙面を通じ、やまぐち元気・未来トークへの意見募集など地域の皆さんの参画を促した。 ②研修事業では参加者の学習意欲やボランティア意識の把握ができた。5月・10月に実施した庭木の学校では環境美化活動ができた。里山の学校は初心者向け登山として企画した。新規事業のボランティアの学校は、8月と12月に実施。「ボランティアとはなんぞや・・・」についてワークショップを行い、私たちの考える大殿型ボランティア活動を共通認識した。		
	評価	①広報紙「地域情報みんなのおおど」発行。事業目的の共通理解にたつて年度ごとの「到達点」を明確にし、段階を踏んだ調整を進めていく必要がある。 ②研修事業は新たな参加者を巻き込むための学校シリーズ(多様なメニュー)の検討や参加者同士の交流を深める工夫も必要。健康維持を目的に参加できるものなど。		
今後に向けて	①地域の皆さんを巻き込んだ情報発信のありかたを引き続き検討していく。 ②引き続き、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から、住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していく。			
②	事業名	つながる大殿七夕ちょうちん	決算額	93,619円
	目的	地域の伝統文化(祭り)を通して地縁の強化を図る。		
	実施内容	地縁の復活をめざして取り組んでいることを実行委員会で共有し、コロナ禍にあってもできることとして、各町内会「大殿七夕ちょうちん」の設置と、昨年同様「お家で軒先ちょうちんを飾ろう」と呼びかけた。来年度はちょうちんまつりが全面的に実施できるように、ちょうちんを確認した。		
	実施時期	令和4年7月～令和5年2月		
	参加人数	310人		
	成果	ちょうちん事業では、各町内会「大殿七夕ちょうちん」の設置と、軒先ちょうちん100セットの協賛をいただいた。飾った写真を送ってもらい、HPで軒先ちょうちんギャラリーとして発信することができた。		
	評価	各町内会に「大殿七夕ちょうちん」の復活を呼びかけた。また、「軒先ちょうちん」も地域の皆さんの協力が得られた。LEDライトを使用してもらい、火事が起こらないよう安全に配慮した。		
今後に向けて	会員による事業運営から住民を巻き込んだ事業運営にシフトしていくという視点も入れた協議を深めるとともに、参加したくなる募集告知の打ち方も検討していきたい。また、100セットのちょうちんが、どのように飾られて、軒先ちょうちんの効果はあったのか検証していく。			
	事業名	地域の見守り活動事業	決算額	25,438円
	目的	地域ぐるみで見守り活動を推進していく。		
	実施内容	部会と大殿小PTAの共催で見守り関係団体懇談会を開催した。		
	実施時期	令和4年8月24日、12月6日		
	参加人数	52人		

③	<p>成果</p>	<p>18団体が参加し2回懇談会を開催。1回目は、通学路の合同点検実施、登校時の見守り・立哨状況、要望や今後の活動について意見交換を行いました。地域内の課題、改善事項等について、各見守り関係団体の方、住民の方との話し合いを継続し、連携を図っていきたい。2回目は、山口県警交通課交通総務課の方に「ボランティアが実践する交通安全、見守り」と題して講演をしていただき、今後の取り組みの参考になりました。団体共通の見守りタスキを作成し、誰でもできる見守りを実施していく。</p>
	<p>評価</p>	<p>参加団体が増えていることから見守り活動への期待は高まっている。</p>
	<p>今後に向けて</p>	<p>「チーム大殿」の視点での懇談会の継続実施。ゆるやかな見守りのルールづくりと実効確保のための協議を深めていきたい。見守りタスキを付け見守り活動を進めていく。</p>